

# ICTで 授業 をDX!

学年 小学校1年 教科 国語 など

## 【1年生でも簡単】Google Jamboardで言葉作り!

使用するアプリケーション等

- ・ Google Classroom
- ・ Google Jamboard

単元・題材 ことばづくりをしよう

本時の目標 言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことができる。(知識及び技能)

ICTを活用することで できること

- ・ Google Jamboardで事前にワークシートを作成しておくことで、ひらがなのカードを作る必要がなく、紙を印刷したり切ったりする手間がない。
- ・ Google Jamboardの共同編集機能を活用し、ページごとに児童を割り振ることで、教師用端末で児童一人一人の学習状況を把握することができる。
- ・ 一度ワークシートを作成すれば、文字を変えるだけで何度も授業に活用することができる。

### DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

#### 1 導入

- ① 黒板にひらがなのカードを貼って、文字を並び替えて言葉を作ってみる。
- ② 本時の学習内容を確認する。  
(めあて) 字をならびかえて、ながいことばをつくろう。

#### 2 展開

- ① ひらがなカードを並び替えて、言葉を作る。
  - ひらがなが書かれた紙を配布して、はさみで切る。
  - 机の上でひらがなカードを並び替えて、言葉を作る。
- ② 全体で考えを共有する。
  - 黒板に掲示してあるカードを並び替えて、作った言葉を発表する。
- ③ できた言葉を比べて話し合う。
  - 作った言葉の中で、一番長い言葉はどれか確認する。

あ	は	と	う
す	も	み	け
ぬ	こ	し	さ
よ	や	ん	ご

#### 3 まとめ

- ひらがなをつなげると、いろいろなことばをつくることができる。
- ① 振り返りを行う。
    - 授業を通じて、わかったことやできるようになったことを発表する。
    - 本時の学習について、「よくわかった」「わかった」「よくわからなかった」の3段階で挙手をさせて、学習を振り返る。
  - ② 次時の予告をする。
    - 次のワークシートを見せて、次は違う言葉を作ることを知る。

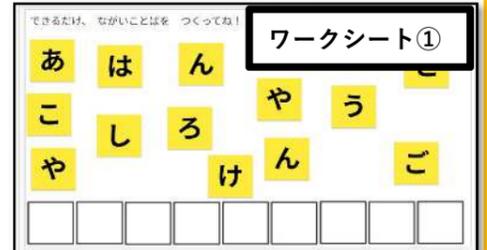
せ	か	い	お
く	さ	ん	ご
が	つ	す	く
う	こ	ん	

DX!

### DX後 (赤字はICT活用場面)

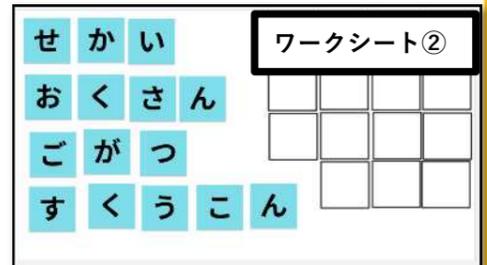
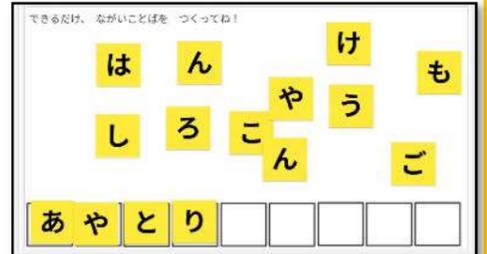
#### 1 導入

- ① 大型テレビにGoogle Jamboardで作成したワークシートを映し、ひらがなのカードを並び替えて言葉を作ってみる。
- ② 本時の学習内容を確認する。  
(めあて) 字をならびかえて、ながいことばをつくろう。



#### 2 展開

- ① Google Jamboardでひらがなカードを並び替えて、言葉を作る。
  - Google ClassroomにGoogle Jamboardで作成したワークシート①を配布する。(右図)
  - 大型テレビに映し出しながら、操作方法を説明する。
  - 指でカードを動かして、言葉を作る。
- ② 全体で考えを共有する。
  - 大型テレビに教師用端末の画面を映し出し、カードを並び替えて作った言葉を発表する。
- ③ できた言葉を比べて話し合う。
  - 作った言葉の中で、一番長い言葉はどれか確認する。
- ④ 2つ目の課題に取り組む。
  - Google ClassroomにGoogle Jamboardで作成したワークシート②を配布する。(右図)
  - 大型テレビに映し出しながら、操作方法を説明する。「今度は、『教科の名前』を4つ作りましょう。」
  - 指でカードを動かして、言葉を作る。
- ⑤ 全体で考えを共有する。
  - 大型テレビに教師用端末の画面を映し出し、カードを並び替えて作った言葉を発表する。



#### 3 まとめ

- ひらがなをつなげると、いろいろなことばをつくることができる。
- ① 振り返りを行う。
    - 授業を通じて、わかったことやできるようになったことを発表する。
    - 本時の学習について、「よくわかった」「わかった」「よくわからなかった」の3段階で挙手をさせて、学習を振り返る。
  - ② 次時の予告をする。

#### 授業者から (成果・課題・留意点)

- ・ 紙を使わないので、切ったり片付けをしたりする時間が短縮することができるので、考える時間が増えたり、新しい課題に取り組んだりすることができた。
- ・ 操作方法は、指でカードを動かすだけなので、1年生でも迷わずに操作をすることができた。
- ・ 操作するときに、意図せずにカードが大きくなってしまったり、回転してしまったりすることがあり、子供が困ってしまうことがあった。机間指導の際によく確認する必要がある。